

# 議会だより

81

のとちょう

2026.2.1



消防団出初式



弥栄太鼓初打ち

議員定数を削減する条例を可決 … 2-4  
常任委員会レポート …………… 5  
一般質問（7人が登壇）…………… 6-11  
議会と語ろう会を開催しました …… 12-13  
管外視察レポート …………… 14  
主な議会活動 …………… 15  
まちかどインタビュー  
編集後記 …………… 16



能登町議会へようこそ



寒ぶりまつり解体ショー



多くの人でにぎわった寒ぶりまつり

# る条例を可決！ 8年の一般選挙から実施)

## 年度一般会計予算総額を675億5620万円とした。

### 主な補正予算

- 総務費（5億2254万円）
  - ・ふるさと納税の費用を追加
  - ・令和6年能登半島地震復興基金積立金の追加
- 民生費（1億747万円）
  - ・令和6年度子ども子育て支援交付金及び児童手当交付金等の精算に伴う償還金の追加
- 衛生費（49億6270万円）
  - ・能登半島地震の災害廃棄物処理事業の決算見込みによる公費解体委託料の追加
- 農林水産業費（7億3523万円）
  - ・農業用機械再取得等支援事業補助金の追加
  - ・県漁協能都支所の荷捌き施設再建事業補助の追加
- 商工費（1727万円）
  - ・町営業再開支援事業・町チャレンジ支援事業補助金の追加
- 土木費（8791万円）
  - ・復興公営住宅（松波地区）建設に係る土地購入費の追加
- 教育費（3686万円）
  - ・国指定重要文化財「中谷家住宅」の保存修理事業補助金の追加
- 災害復旧費（▲111億8113万円）
  - ・農業用施設、漁港施設、公共土木施設災害復旧費を減額
  - ・松波小学校新築復旧工事及び解体工事費の追加
  - ・社会教育施設・社会体育施設の災害復旧費の追加

### 能登町議会議員定数条例の一部改正

令和4年の能登町議会議員選挙が無投票となったことから、能登町議会では、なり手不足解消調査特別委員会を設置し審議してきた。令和6年能登半島地震に際し、地域に残る若者の活躍に期待して定数はそのままとし、なり手不足解消調査特別委員会は解散した。解散後も定数や報酬について審議を続け、震災後に加速する人口流出と高齢化、また昨年補欠選挙においても無投票選挙となったこと、近隣市町の議員定数との比較や多角的な見地から、定数を2名減とする条例改正を提出した。

令和7年第10回能登町議会12月定例会議を12月8日から17日にかけて開会し、町長提出議案26件が提出された。議案は令和7年度の補正予算のほか条例改正や請負契約の締結などであり、

議案は常任委員会によりそれぞれ審査し、全議案を可決した。15日には7人の議員が町政全般について一般質問を行った。

# 議員定数を削減す 14名から12名に(令和

## 一般会計補正予算に47億884万円を減額し、令和7

### その他の主な議案

#### ・副町長の選任

野口 隆 氏 (金沢市暁町)

能登町字寺分出身  
昭和62年に県職員となり、令和7年3月末  
奥能登総合事務所長を最後に退職



#### ・指定管理者の指定 (今回、指定された施設)

宇出津港水産物鮮度保持施設・宇出津港水産物加工処理施設・セミナーハウス山びこ及びふれあい工房・ふれあいの里施設・国民宿舎能登うしつ荘・国民宿舎能登やなぎだ荘・真脇ポーレポーレ及び縄文真脇温泉・真脇遺跡公園・ラブロ恋路・能登観光情報ステーションたびスタ・能登海洋深層水施設

### 10月会議

令和7年第8回能登町議会10月会議を開会し、議案8件について原案可決とした。

#### ○令和7年度能登町一般会計補正予算 (第3号)

#### ○請負契約の締結

- |                                |                 |
|--------------------------------|-----------------|
| ・ 崎山情報センター設備更新工事               | NECネッツアイ(株)北陸支店 |
| ・ 町道2級瑞穂武連1号線 道路災害復旧工事 (その1)   | 北川ヒューテック(株)     |
| ・ 町道2級瑞穂鶴町1号線 道路災害復旧工事 (その1)   | 丸建道路(株)         |
| ・ 町道1級上町越坂1号線 道路災害復旧工事 (その1)   | (株)ソテック         |
| ・ 町道1級不動寺宇出津1号線 道路災害復旧工事 (その1) | 北川ヒューテック(株)     |
| ・ 町道1級神和住柳田1号線 道路災害復旧工事 (その1)  | 島屋建設(株)         |
| ・ 町道上4号線 橋梁架設工事                | (株)西中建設         |

### 11月会議

令和7年第9回能登町議会11月会議を開会し、議案3件について原案可決とした。

#### ○請負契約の締結 (道路災害復旧工事 時長地区)

(株)西中建設

#### ○財産の取得の変更 (復興公営住宅用地の追加)

#### ○財産の取得 (給水車)

(株)モリタエコノス 新潟支店

# 議員定数の削減について討論！

12月定例会議の最終日に、能登町議会議員定数条例の一部を改正する条例について、馬場等議員と志幸松栄議員が反対討論、田端雄市議員と小浦肇議員が賛成討論を行った。

## 反対討論

馬場 等 議員



震災後に地域の実情を知る議員を減らすべきではない。なり手不足は議会活動の可視化で克服できる。議会の質を高め、信頼を取り戻すことこそ議会が行うべきことである。

志幸 松栄 議員



震災からの復興の中でやるべきことは定数削減ではない。高齢化の町で町民の代弁者がいなくなる。

議員一人一人が町民の意見を拾って活動し、予算常任委員会を機能させ、議会モニター制度の活用などで課題を克服することが重要である。政治倫理条例を改正し立候補しやすい環境を作ることが議会改革である。

定数削減は議会改革のきっかけとなる。民意の反映が希薄になること、行政へのチェック機能が低下することなど削減によるデメリットについては、議会一丸となり行動することでカバーできる。

## 賛成討論

田端 雄市 議員



小浦 肇 議員



## 令和7年第10回12月定例会議の審議結果 (賛否の分かれたもの)

賛成 ○、反対 ×、欠席 欠、— 議長は採決に参加しません。

結果可否	議案	議員名	松本光雄	小浦肇	馬場等	田端雄市	金七祐太郎	南正晴	市濱等	小路政敏	酒元法子	河田信彰	向峠茂人	志幸松栄	鍛冶谷眞一
可決	発議第2号 能登町議会議員定数条例の一部を改正する条例		○	○	×	○	○	○	—	×	○	○	○	×	○
不採択	請願第2号 能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の再開のための財政支援を求める意見書の提出を求める請願		×	×	○	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×
不採択	請願第3号 日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書の提出を求める請願書		×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	○
不採択	陳情第2号 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情		×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×

※債務負担行為とは  
複数年度にわたる事業を計画的かつ安定的に執行するため、地方公共団体が将来にわたって経費の支出を約束する契約

○ 企画財政課長  
災害復旧費については、当初3年間で復旧することを目指していたが、測量、設計業務が進捗せず、年度内の工事完成が見込めないことから、今回、12月以降の発注について減額し、※債務負担行為を設定した。翌年度の早期工事着手に向けて着実に取り組む。

田端雄市 議員  
漁港災害復旧費で10億円、道路災害復旧費で65億円、河川災害復旧費で48億円の減額となった理由は。

12月定例会議の  
議案質疑



## 予算常任

### 委員会

志幸 松栄 (委員長)  
向峠 茂人 (副委員長)  
(委員は議員全員)

のと里山空港利用助成金制度の申請期限は、利用者から期間が短いとの声がある。

搭乗日から2カ月間である。期限延長について検討する。

トキ生息環境整備事業で、面積要件が50アール以上とあるが、農業者1人でも対象になるのか。

50アールの田んぼで取り組みするなら1人の農業者で可能である。

現在は、「農協で取りまとめた団体」、「河ヶ谷集落」、「当目夢を語る会」の3団体で32・3ヘクタールが予定されている。

中小企業退職金共済制度加入促進事業で本年度の加入対象者、これまで同制度を使った会社数は。

既存事業者で17名分、新規事業者で11名分を見込んでおり、会社数は31社である。

宇出津病院の医療器械の不都合の際には、近隣病院と連携しているのか。

医療器械の定期点検や故障などが発生した場合、近隣病院と調整し、必要な対応を行っている。

ビジネスホテル誘致について今回の補正内容は。

ビジネスホテル建設誘致について、数社から問い合わせがあり対面で打合せを行うための出張費を予算計上した。

空き家財道具等処分助成金について内容を示せ。

家財道具処分費の2分の1以内の助成で上限は10万円である。助成金の対象となるのは空き家登録をした家屋である。

## 総務産業建設委員会

馬場 等 (委員長)  
小浦 肇 (副委員長)  
松本光雄 南 正晴  
酒元法子 河田信彰  
志幸松栄

能登町第3次総合計画の基本構想について、町民には分かりにくいのではないのか。

「ありがたい町の姿」、「まちづくりの進め方」、「まちづくりの基本的視点」を総合的に検討した上で基本構想を創り上げてい

町チャレンジ支援事業300万円の内容は。

新業種への挑戦、新事業の挑戦、新市場へチャレンジする事業者に対し、県が補助した案件に町が上乗せするものである。

指定管理者の指定について、総合判定結果にメリハリがないのでは。

町の公の施設における指定管理者の指定手続きに関する条例により選定委員会に諮り総合的に判断している。

## 教育厚生

### 委員会

向峠茂人 (委員長)  
小路政敏 (副委員長)  
田端雄市 金七祐太郎  
市濱 等 鍛冶谷真一

で問題が発生した際に園から町へ必要事項の報告が行われている。

虐待に関する通報義務の創設により、しっかりと連携して情報共有できる体制を整えて欲しい。

園内も含め担当課と、情報共有して対応に努める。

後期高齢者医療の条例改正について、普通徴収の細かい期割が大きくなった。案内通知が届いても後期高齢者にはわかりにくい。高齢者はWebなどが苦手なので、広報などが紙での周知が安心する。

今回、広報やホームページでも案内する。

園児に対する保育所での虐待などが取りざたされている。能登町でこのような調査は行っているのか。

町は定期的な調査は実施しておらず、保育所内

地域限定保育士の登用で門戸を広げ、人材不足の解消を図ることが重要である。若い保育士が希望をもって就職したにも関わらず、保護者とのトラブルなど、コミュニケーションエラーによって、辞めざるを得ない状況にならないよう職員を守ることが出来る組織を作ってほしい。

しっかりと受け止め対応する。

# いっばん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

12月定例会議の一般質問（15日）

## 問 感震ブレーカーの設置啓発を

### 答 県補助制度に上乘せを検討



たばた 雄市 議員

**問** 地震時の火災は、ほとんどが通電火災と言われ、能登半島地震での輪島朝市付近の大規模な火災も通電火災との指摘がある。感震ブレーカーの設置、購入に県が補助制度を設けているが、その方針に沿った啓発、取り組みをするべきだ。

**答 町長** 重要な対策と認識している。被害を最小限に抑えるため、普及促進は課題である。町民に命を守るための思いが伝わる啓発を強化したい。県補助制度に対する上乘せ補助については検討する。



感震ブレーカー

## 問 広域連携で、被災文化財を護れ

### 答 文化ゾーンとして発信したい

**問** 文化財レスキューの活動も次の段階に入ったと考える。未来に向けて、どう保存していくのか。公的支援を受ける窓口や統括管理をしていく組織が必要である。奥能登4市町が被災文化財の保護・保存を決意すべきである。町には、誇りとする真脇縄文遺跡があり、その周辺は拠点として最適位置にある。県に提案を要望してもらいたい。

**答 教育長**

奥能登の文化財は、県内各所、大学、民間と連携し整理・活用している。真脇遺跡については、今後、第2期、第3期と整備を重ね、当町の観光ルートとして、交流拡大を図り、文化ゾーンとして、被災文化財と合わせ、国の内外に発信したい。県と足並みを揃え、奥能登の文化財の振興を推進する。

### その他質問

**問** 復興公営住宅の入居要件は、半壊以上である。半壊未満の人には、どんな対応があるのか。一人も残さずすべての被災者へ住まいの確保を求める。

**答 復興住宅課長** 制度上、入居要件を満たさない世帯の方々には、様々な支援により、住ま



文化財レスキューの様子

いの確保のために寄り添い解決していきたい。また、支援に対し、さらなる調査が必要であれば、過去の調査を検証し、実施したい。

**答 町長**

自分で再建できない場合、既存の町営住宅のほうに入っていたら、と思っ



ばば ひとし 議員  
馬場 等



護岸工事中の役場第2駐車場

## 問 第2駐車場の民間施設の予定は

答 令和8年夏ごろにずれ込む

問 役場第2駐車場は昨年9月の奥能登豪雨及び今年8月の大雨の際にも一部冠水した。建設予定の民間施設は当初の計画では令和7年度内に完成すると聞いていたが、変更はないのか。また、第2駐車場を貸し付けたことにより町民から不便の声や、周辺の民間施設からの苦情はないか。

答 総務課長 梶川周辺では護岸の崩壊が生じており復旧工事が行われている。民間の交流拠点の整備については、令和8年1月完成と聞いていたが、諸事情で同年夏ごろにずれ込むと聞いている。町としては進捗状況を注視し、必要に応じて町民に情報提供を行う。また、駐車場の貸し付けによる混雑や利用者からの不便の声、周辺の民間施設からの苦情の声についても、特段の報告は受けていない。

## 問 第2期公共施設等管理計画を問う

答 施設の再編方針の見直しに着手

問

第2期公共施設等総合管理計画・個別施設計画の主要な数字は、前回改定を行った、令和3年12月から、4年を経過し、その間、令和6年能登半島地震・奥能登豪雨が発生し多くの公共施設が被害を受けたにもかかわらず、ほとんど変わっていない。今回の第2期計画が地震や豪雨の被害、それによる人口減少を反映しているとは言い難い。本計画で用いられている対象延床面積はいつ時点のデータか。また、前回改定時には※予防保全型の考えを取り入れると説明があったが、今回の第2期においても※事後保全型になっているのは何故か。

答 企画財政課長

公共施設等総合管理計画・個別施設計画については、令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨により、多くの公共施設が甚大な被害を受けたことから、施設の再編方針の見直しを行っている。第2期の計画の基礎となる延床面積については、令和7年3月時点の能登町公共施設状況調査を基礎データとしている。将来更新費用については、総務省が示している標準的な試算方法により算出している。今後は予防保全の取り組みを着実に進めることで財政負担のさらなる平準化、縮減につなげていきたい。

## その他質問

問 第2期の個別施設計画は、公共施設の配置について、防災計画・復興計画との整合性が考慮されているのか。

答 企画財政課長

公共施設が避難所や地域づくりの拠点として、複合的な役割を担っていることは十分認識している。施設の再編に当たり、指定避難所や地域拠点としての考え方と整合性を図りつつ慎重に検討していく。

※予防保全  
計画的な補修により  
施設を長寿命化する  
※事後保全  
施設が壊れてから補  
修や建て替えを行う



酒元 法子 議員

## 問 町の熊対策について問う

### 答 今後も有効な熊対策を進める

① 県ではツキノワグマ出没警戒情報を発令しているが、能登町での熊の目撃情報と熊対策の現状と課題について問う。

② 猟友会の現状と、近隣市町の猟友会のメンバーと協定を結び地域を守る体制を構築できないか。

#### 答 農林水産課長

① ツキノワグマは、令和3年度に当町で初めて確認されている。昨年からは現在まで4件の目撃情報があったが、現地や映像を確認した結果、熊とは断定されていない。しかし、過去に確認された例



ツキノワグマ (イメージ)

もあるため、猟友会の被害対策実施部隊と町職員、警察官で現地確認とパトロールを行っている。また告知放送による注意喚起を行っており、県とも相談しながら有効な熊被害対策を進めていきたい。

今年度、緊急銃猟マニュアルを策定する予定であり、民家周辺などに熊が出た場合は緊急銃猟が可能となる。

② 猟友会員は、高齢化などの理由で、令和2年度の126人から令和6年度94人と減少している。

現在、奥能登の支部においての猟友会員の応援調整等はできていない。

## 問 公費解体後の空き地の管理を問う

### 答 所有者において管理を願う

問

町内では、公費解体後の空き地と休耕地が増加傾向にある。仮設住宅や遠隔地での生活を余儀なくされた地権者には震災から2年が過ぎ、空き地の雑草管理もできないとの声もあがっている。私有地の管理を町の公費で行うことは困難であることは承知しているが、国や県の事業により、空き地の雑草対策を事業化することはできないか。草むらに熊が隠れることができないよう管理することで熊対策にもつながると考える。

答 町長

空き地の管理は、所有者の責務であるため、自身での対応が困難な場合は、シルバー人材センター等の利用を検討いただきたい。シルバー人材センターでは、様々な箇所の草刈りや清掃、不用品の処分等のお手伝いを行っている。

能登半島地震や奥能登豪雨の被災により、奥能登では多くの空き地が出現し、その維持管理に係る経費負担が課題である。今後、ほかの市町の対応状況等を調査して、支援策を検討したい。

また、農地については、「多面的機能支払事業」や「中山間地域等直接支払事業」を活用して、保全管理していただくようお願いする。

### その他質問

⑤ 震災による税制上の特例措置について、対応とその周知方法は。

答 税務課長

固定資産税や都市計画税において被災した住宅や土地に対し軽減措置を講じている。

また、半壊以上の家屋所有者等が令和11年3月31日までに被災家屋に代わる家屋を取得した場合や改築した場合は、取得翌年から4年間、固定資産税及び都市計画税を2分の1に減額する。

納税通知書に案内文書を同封し、周知している。また広報やホームページでの掲載、窓口や電話等、情報提供を行っている。



きんしち 金七 ゆうたろう 祐太郎 議員

**問** なりわい再建制度の利用状況は

**答** 再建に向け支援を継続していく

**問**

資材高騰や物価高騰により、自宅の再建を町外で建設または購入する人も多いと聞く。自宅の再建となりわい再建は、人口減少に直結する重要な問題である。現在の自主再建の状況となりわい再建の状況は。また、なりわい再建制度の申請書類が多く、申請を途中であきらめたという声も聞く。持続化給付金など町の上乗せがある事業は、周知を広げ多くの方に活用してもらおう工夫を。

**答** 住民課長

生活再建支援金は令和7年11月末現在、町内での建設による再建が92件、町外での建設は17件、住宅購入による再建は町内が33件、町外が43件となっている。

**答** ふるさと振興課長

なりわい再建制度の利用状況は62件となっており、申請ができずに断念したという例は聞いていない。

**答** 町長

生活やなりわいの再建は喫緊の課題であり、能登町に住み続けることができるよう支援を継続していく。復興公営住宅の建設については、意向調査を踏まえ、生活の利便性や住環境を重視して整備を早急に進める。

**問** 内浦総合運動公園の再整備は

**答** 町民の憩いの場となるよう考える

**問**

内浦総合運動公園は都市公園として整備された。能登半島地震及び津波により公園全体が甚大な被害を受けたが、今後、都市公園としての機能を十分に発揮するためにどのよう

**答** 町長

に再整備するのか。  
内浦総合運動公園は、昭和53年地域住民の健全な余暇時間の活用と連帯感の育成を図るため、総合的な運動公園として整備された。現在は、都市公園区域外の第2体育館のみ応急復旧し一般開放している。公園の一部は復旧・復興を進めるため建設資材置き場として活用していく。  
内浦総合運動公園すべてを元通りにすることは困難であるが、再び町民の憩いの場となるよう考えていきたい。内浦体育館は築40年以上が経過し、耐震基準にも適合していないため解体し、柳田植物公園内に、屋内プール、武道館を集約した総合体育館の整備を検討している。



現在の内浦総合運動公園



委員 肇 小浦

## 問 復興支援交付金の状況を問う

答 申請件数増えており支援継続する

問

地域コミュニティ施設等再建事業の申請件数と交付確定額は。

答 総務課長

自治会が運営管理している集会場・神社・寺院の復旧・復興に関わる申請件数は、R6年度22件3379万円、R7年度(12月10日現在)69件1億2607万円交付決定している。

問

再建や修繕にかかる見積りを入手できない状況下での支援事業の継続は。

答 総務課長

R8年度は、石川県創造的復興プラン及び能登地域創造的復興実施計画に基づき支援を継続する予定である。支援事業の明瞭な終了時期は示されていない。

## 問 林業関係従事者の実態を問う

答 後継者不足で激減している

問

林業従事者の推移と取組み状況は。

答 農林水産課長

国勢調査から林業従事者は、H27年は80人、R2年は48名で、高齢化や後継者不足が顕著に表れている。

取組みとしては、一昨年から\*「地域解決型ワーケーション活動」にて林業体験をとおし、関係人口創出に取組んでいる。今後「地域解決型ワーケーション活動」の運営者と連携をとり林業従事者のすそ野を広げる。また、機械化等で労働環境改善を進め、若者世代が魅力を感じる支援が必要と考えている。

\*「地域課題解決型ワーケーション」とは

企業の従業員が地域関係者との交流を通じて共に地域の課題を考え、解決アイデアを出したり、実際に解決に取り組んだりしていくワーケーションスタイル

問

シイタケ栽培業者数の推移と課題は。

答 農林水産課長

石川県特用林産物需給動向よりR5年の生産者は26人で生産量215トン、R6年は21人で生産量143トンとなっている。能登半島地震による生産施設の被災が激減した主な理由である。後継者不足と生産・輸送コストの高騰が課題であるので、国や県の動向に注視しながら、生産者に寄り添った支援を検討する。

## その他質問

問 町職員の時間外勤務状況は。

答 総務課長

能登半島地震発災直後は、避難所開設と運営・給水活動などで40%の職員は、時間外勤務の規定上限を超えていた。R6年度になり中長期派遣職員の協力で改善されてきたが、インフラ復旧業務で、査定期限が迫ったことや罹災証明発行業務が集中しR6年上期では約10%、下期では4%の職

員が時間外勤務の上限を超えた。R7年度には2・5%となり、震災対応業務の比重は緩和されている。

今後は職員の採用と働き方改革で適切な労働環境確保に取り組み。

問 男性職員の配偶者出産休暇及び育児休暇取得状況は。

答 総務課長

育児休暇はR4年度はゼロ、R5年度・R6年度は対象者5名中2名が取得している。配偶者出産休暇は、R4年度7名中2名、R5年度・R6年度共に5名中2名が取得している。少しずつ意識の変化が表れている。

問 移住定住や二地域居住の取組みと進捗は。

答 ふるさと振興課長

能登町定住促進協議会と協議し現状把握中である。集落支援員2名を配置し、79地区での活動と各公民館からの聞き取り、事業者と地域との「連携活動」を行った。

問 総務省の「ふるさと住民登録制度」に応募し、関係人口や移住者を増やす考えは。

答 ふるさと振興課長

制度の詳細が国から提示されていないため、現時点では応募の可否を判断できない。



議員 かいしゃ かいやく かいやく かいやく

問 災害復興いやさかツアーを提言

答 助成制度も活用して支援する

問

「災害に負けてたまるか」祭りには能登人を元気にする「力」がある。千葉県佐倉市の国立歴史民俗博物館にはあばれ祭りのキリコや神輿が常設展示されている。今こそ、のと里山空港を利用して「能登町災害復興いやさかツアー」と称したツアーの企画を提言したい。参加者が多くなるようなプログラムファの助成制度をお願いしたい。

答 町長

「災害復興いやさかツアー」の企画については、「郷土愛の再確認」や「能登の祭り文化の継承、発信」に大変意義があり、魅力的であると感じる。町としては、5名以上の空港往復利用で一人あたり4000円を助成する制度や、貸切バスの助成も行っている。さらに、のと里山空港利用促進同盟会による助成制度があり、旅行プランに応じて活用できる制度が複数ある。町としても企画段階からの相談対応や、価格支援を行うとともに、

のと里山空港の搭乗率向上の施策についても考えていきたい。

問 防犯灯、防犯カメラの増設を望む

答 地域コミュニティ事業の活用を



議員 しこう しょう しょう

問

防災後、犯罪を未然に防ぐためにも、以前より多くの防犯灯を設置するべきである。また防犯カメラの増設も考えてみてはどうか。

答 町長

防犯灯は地域住民の安全確保や犯罪防止に効果があると認識している。地域で増設が必要と判断される場合は、自治会が

問 合葬墓の進捗状況を問う

答 早期の建設着手を目指している

問

震災後、合葬墓の建設に対して町民の関心度は非常に高い。墓地には、墓石が倒れたままの状態も多く、これを機に墓じまいし、合葬墓への移行を考える人も増えている。この現状を踏まえ、現在の進捗状況と今後の見通しを問う。

答 住民課長

答 町長

限られた場所の中で現在の候補地を選定した。駐車場も整備し、家族が安心できる合葬墓を建設したい。

申請者となり、能登町地域コミュニティ活性化事業補助金を活用して欲しい。防犯カメラについては、個人のプライバシーを配慮し、主に学校周辺に必要最小限の設置をしている。防犯カメラの設置についても、能登町地域コミュニティ活性化事業補助金を活用していただきたい。



合葬墓建設予定地 (墓地公園内)

# 」を開催しました

## 主な内容

町民の皆さまからいただいた意見・要望について、執行部等からの回答も含めて掲載いたします。

○体育館を新規建設する際は、高機能仕様とし、国際大会等が開催できるように検討してほしい。  
 〇新総合体育館については、柳田植物公園内

屋内プール、武道館の機能も併設し整備する方向で検討している。具体的な計画はこれからである。

○クリーンセンターのみ焼却時の熱を活用して風呂や暖房に利用できないか。

〇ごみ焼却装置でお湯を沸かす機能はなく、国の助成金を活用しており実現は困難である。

○議会と語ろう会や会議、集会などに集まる人が少ない。

〇今回の議会と語ろう会は、周知努力が不足した。今後は興味がわく内容など周知の方法を工夫する。

○栃木県足利地区のように大きな温泉宿泊施設を併設した道の駅を造り、農業など体験型の旅行ツアーや修学旅行を誘致し交流人口を増やすことはできないか。

〇修学旅行受け入れは既に宮地地区で行っており、道の駅の増設投資は、町の財政状況を考えると大変厳しい。今後地域観光資源を磨き上げ、更なる地域の魅力向上を図りたい。

○議員は高齢化が進んでいる。子育て世代の町議には「子育て手当」を支給すればよい。  
 〇議員の定数、手当等を含め、若い世代が立候補しやすい環境を整えるよう議論・検討する。

○都市計画税について道路計画はあるが工事は止まっている。進捗しないのであれば、都市計画税を取らないで欲しい。

〇都市計画税は道路がすべてではない。下水道、公園、宅地造成等、税の使い道は多岐にわたるので、一元的に税の廃止とはならない。

○避難訓練について、避難場所が分からない。  
 〇総務課危機管理室に改善するよう伝えた。

○公立と私立の保育所に違いがある。保育時間などを統一して欲しい。  
 〇私立保育園に進言する。

○小学校を統合しないのであれば、複式学級にしないで欲しい。  
 〇県の学級編成基準では、2つの学年を合わせて16人以下である場合、複式学級となる。(1年生が含まれる場合は8人以下となる)

○飯田高校へ通う生徒にも能登高校と同じ待遇にしてほしい。  
 〇能登高校応援プロジェクトの一環であり同等にはならない。

○十八束から上町への農道の除雪をしてほしい。  
 〇この区間は冬期積雪時通行止め区間となる。

○ござれ祭りに松波からシャトルバスを運行してほしい。  
 〇実行委員会へ今後の検討課題として伝える。

○松波城址公園への案内標識を作してほしい。  
 〇令和7年度の整備工事に合わせて看板を設置予定である。

○新しい松波小学校の隣にキッズセンターを併設してほしい。  
 〇キッズセンターは内浦総合支所の隣に計画中である。



能登町役場 2階大集会場

# 「議会と語ろう会」

令和7年11月19日に町内3会場で実施。能登半島地震、頂いた意見や要望は今後の議会活動に反映します。



柳田公民館 多目的ホール



内浦総合支所ホール

- 家屋の解体が進み街灯が不足している。
- 消防犯灯は町内会が主体となり、必要な個所を選定し、役場総務課へ申請して欲しい。費用の3分の2を補助する制度がある。
- 病児保育が充実していれば女性の政治参画がしやすい。
- 現在では、未就園児の一時預かり制度、ファミリーサポートセンターで対応を行っている。
- 有線放送をもっと見やすく。タイムリーな放送を望む。
- 週に2回の更新で運営しており、タイムリーな放送を心掛けたい。要望があればお気軽に連絡をいただきたい。
- 道路工事の際は、迂回路の整備を求める。
- 工事の際には迂回路の確保を考慮して取り組んでいる。

- 応援職員が引き揚げた後、事業が進まなくなる恐れがある。職員の確保を願う。
- 各課の事業の進捗状況を見ながら、県に要望していく。
- 議員が自ら会合・会議に出向いて意見を聞いてほしい。
- 今後は、議会から出向いて皆さんの意見を聞きたい。議会活動を見直し、身近で開かれた議会を目指していきたい。

## その他の意見

- 学校統合は仕方ないが、子どもを増やす施策を考えてほしい。
- 規制を緩和し、事業主等が議員に出やすい環境づくりを。
- 能登町に住んでいる人に手厚い補助を求める。
- 議員定数を減らすことに賛成。報酬は上げることに賛成する。
- 持ち主不明の危険家屋の解体をしてほしい。
- 農地・農業施設を早期に復旧しないと耕作者がいなくなる。
- 公的復旧支援は原形復旧ができるまで要望を続けてほしい。
- 議員は住民の意見の吸い上げが来ているのか。
- 議会と語ろう会等に、子どもを預かってくれる施設があれば参加しやすい。
- 議員定年制を入れる事で若い人が議員に出やすくなる。
- 情報共有の手段として、有線放送を各町内でもっと活用すべき。
- 100年後に子孫が能登に戻ってくるようなまちづくりをすべき。
- 真脇地区110件(9町会)のアンケート調査を実施した。道路などの修復箇所を写真入りでまとめたので、後日役場に提出する。

## 管外視察レポート

### 北海道勇払郡厚真町 令和7年11月4日（火）～11月6日（木）

総務産業建設常任委員会 委員長 馬場 等

災害対応の実情を学ぶため、平成30年北海道胆振東部地震で最大震度7を観測した北海道厚真町で視察研修を行った。ようやく復興の道を歩み始めた能登町にとって、今回の視察で学んだことをしっかりと実践し、今後の復興施策に生かしていくことが重要であると感じた。

#### 【現地視察】

災害（復興）公営住宅、防災備蓄倉庫、厚北地域防災コミュニティセンター「ならやま」

#### 【厚真町から学ぶべき点】

- ① 仮設住宅から災害公営住宅への移行支援
- ② 住まい再建に向けた支援体制
- ③ 生活支援相談員(LSA)による孤立防止のしくみ



厚真町で研修を受ける総務産業建設常任委員

### 茨城県常陸大宮市ほか 令和7年11月5日（水）～7日（金）

教育厚生常任委員会 副委員長 小路 政敏

#### 【視察内容】

神奈川県横浜市では自然由来の石鹸などを開発する太陽油脂(株)を見学し、保育・教育・高齢者福祉施設での天然由来石鹸の効果と一次産業のブランド化につなげる方法を模索した。

茨城県常陸大宮市では、大々的にオーガニック給食の導入を行っており、有機栽培農家の確保や農作物のブランド化などご教示いただいた。

また、電子黒板の老舗である東京都千代田区の(株)サカワを見学し、教育現場への導入と先進地事例を学んだ。



常陸大宮市で研修を受ける教育厚生常任委員



小学生議場見学の様子（宇出津小）

## 小学生議場見学

令和7年11月19日（水）宇出津小学校児童が議場の見学に訪れました。能登町子ども議会体験事業として、町内全小学校6年生が議会の仕組みなどについて学ぶため実施されたものです。

10月から12月の主な議会活動

- 10月10日 議会運営委員会
- 10月20日 広報編集特別委員会
- 10月21日 議会運営委員会・全員協議会・第8回能登町議会10月会議
- 10月22日 滋賀県議会琵琶湖・森林・防災対策特別委員会行政視察受入れ
- 10月23日 県町村議会議長会臨時総会・県内行政視察（～24日）
- 10月25日 千葉県流山市民まつり表敬訪問（～26日まで）
- 10月29日 北海道比布町議会行政視察受入れ
- 11月4日 総務産業建設常任委員会管外視察研修（～6日まで・北海道厚真町）
- 11月5日 教育厚生常任委員会管外視察研修（～7日まで・茨城県常陸大宮市）
- 11月11日 町村議会議長全国大会・能登地区町議会連絡会研修会（～13日）
- 11月14日 議会運営委員会・全員協議会・第9回能登町議会11月会議・教育厚生常任委員会
- 11月19日 議会と語るう会（町内3会場）
- 11月22日 宮崎県小林市民まつり表敬訪問（～24日まで）
- 11月27日 議会運営委員会
- 11月28日 県町村議会議長会議長協議会（KKRホテル金沢）
- 12月3日 議会運営委員会・全員協議会
- 12月8日 第10回能登町議会12月定例会議（議案上程）
- 12月9日 予算常任委員会
- 12月10日 総務産業建設常任委員会・教育厚生常任委員会
- 12月15日 第10回能登町議会12月定例会議（一般質問）
- 12月17日 第10回能登町議会12月定例会議（採決）・議会運営委員会
- 11月4日、17日、19日、25日 町内小学校議場見学



滋賀県議会行政視察の様相

令和7年出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 公…他の公務あり 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名												
		松本光雄	小浦肇	馬場等	田端雄市	金七祐太郎	南正晴	市濱等	小路政敏	酒元法子	河田信彰	向峠茂人	志幸松栄	鍛冶谷眞一
10月10日	議会運営委員会	—	—	○	○	—	—	才	—	—	欠	○	○	
10月20日	広報編集特別委員会	—	○	○	○	—	○	—	○	—	—	欠	—	
10月21日	議会運営委員会	—	—	○	○	—	—	才	—	—	○	○	○	
10月21日	議員全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10月21日	10月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11月14日	議会運営委員会	—	—	○	○	—	—	才	—	—	○	欠	○	
11月14日	議員全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
11月14日	11月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
11月14日	議員全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
11月14日	教育厚生常任委員会	—	—	—	○	○	—	○	○	—	—	欠	—	
11月27日	議会運営委員会	—	—	○	○	—	—	才	—	—	○	○	○	
12月3日	議会運営委員会	—	—	○	○	—	—	才	—	—	○	○	○	
12月3日	議員全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月8日	12月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月9日	予算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月10日	総務産業建設常任委員会	○	○	○	—	—	○	—	—	○	○	—	○	
12月10日	教育厚生常任委員会	—	—	—	○	○	—	○	○	—	—	○	—	
12月15日	12月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	
12月17日	12月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月17日	議会運営委員会	—	—	○	○	—	—	才	—	—	○	○	○	



インタビュー



「町の先生」 畑口 留美子さん

今回は、小木小学校の「町の先生」の紹介です。15年ほど前から「町の先生」として、読み聞かせと折り紙の講師をしてこられた畑口 留美子さんです。  
（インタビュー 田端 雄市）

◆読み聞かせを始めたいきっかけは。  
自分が「本が好き」というのもあり、夫の実家に帰ってきてから始めたものです。当時、3人の子どもが小学校低学年で低学年向けの絵本の読み聞かせを2〜3人、多い時には10人ほどに続け

読み聞かせと折り紙で町を笑顔に

◆折り紙クラブについて聞かせてください。  
介護の仕事で、関わってきた「折り紙」を作る喜びを子どもたちに教えたいと思い、先生に相談したところ了承をいただきました。「折り紙クラブ」の対象者は、4・5・6年の高学年です。月1回、45分の担当です。私は、季節感の出るものを教材に準備します。今日まで10年以上になり

てきました。ある時、自分の子どもが「本を読んでも」と言うので、「もう、大きくなったんだから、自分で読めば」と言ったところ、「自分で読むと物語がわからない」と言います。読み聞かせることにより、物語に入っていけるんだと知りました。読み聞かせることにこそ、意味があるという思いで取り組んできました。

この思いが伝わるのか、子どもらは、静かに聞き話の中に入れるようです。ある時には、戦争の話をしたところ、先生から、子どもたちの作文や感想をいただいたこともあり

ますが、最初のころは、子どももスムーズにできていませんが、最近は、細かい作業が苦手なのか、また、コミュニケーションが不得手なのか、時間がかかるようです。私は、時間内に終わらせるよう、その準備に大忙しです。そんな中、3年間も続けてクラブに来てくれる子どももいて、ありがたいです。

ある時、NHK金沢放送局の『がっぱくらぶ』で取り上げてもらい、放送されました。クラブのみんなの喜びは最高でした。

◆町や議会に要望するとは。  
初めて、能登へ来たときに、能登の言葉が理解できませんでした。子どもが学校から帰って来て、話す言葉がわからないんです。



「折り紙クラブ」の様子

◆町や議会に要望するとは。  
初めて、能登へ来たときに、能登の言葉が理解できませんでした。子どもが学校から帰って来て、話す言葉がわからないんです。

方言と標準語の比較を見たことがあります。もともと、馴染みやすい方法があれば良いと思います。復興に関して、能登に住み続けると決意している人たちを後押ししてくれるようなものを期待します。

次の定例会議は3月6日開会予定です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、町公式LINEでお知らせしています。

広報編集	
特別委員会	
委員長	小浦 肇
副委員長	小路 政敏
委員	馬場 雄等
	田端 雄市
	南 正晴
	向峠 茂人

編集後記  
人はきつかけにより、新たな決意に立てるもの。この2年の様々な苦勞と経験は、必ず生かされる時があると信じます。多くの支援の手が差し伸べられていきます。人との触れ合いがエンパワメントを与え、また、もっていることは間違いない。  
力強い一歩、一歩の一年でありたい。  
議会は、新たな改革へ議員定数2名の削減を決定した。  
議員一人の使命は重い、と決意を新たにしました。  
（田端 雄市）